

ニュースレター

No.81

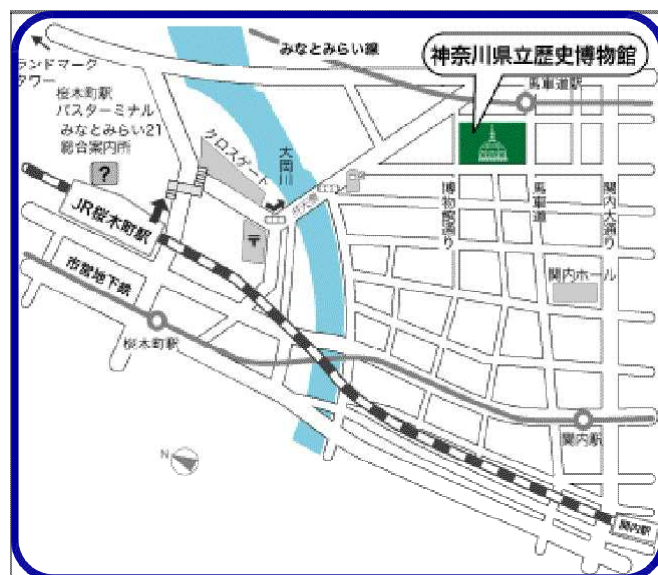
2015年 5月24日

目 次

	ページ
総会のお知らせ	----- 1
行事記録	
山のめぐみに触れあおう	----- 1
貝塚遺跡から復元する平潟湾の生い立ち	----- 2
FMヨコハマ エコロジープラン 「自然教室 Vol.8」	----- 3
県内自然保護ニュース	
神奈川県内 生物多様性ホットスポット 190箇所	----- 3
渋沢霊園問題	----- 4
新アジェンダ 21 かながわ改訂案	
神奈川県生物多様性地域戦略 (2016-2020)	----- 6
平成26年度かながわ地球環境賞	
行事情報	----- 7
神奈川県自然保護協会からのお知らせ	
アジェンダの日ブース出展	----- 8
創立50周年記念行事に向けて	
柴田敏隆さんを語る会	
総会議案書(暫定版)	----- 9
2015年度分会費納入をお願いします	----- 14

神奈川県自然保護協会 総会のお知らせ

- 1 日 時 2015年6月14日(日) 13時30分より
 - 2 会 場 神奈川県立歴史博物館 講堂
 - 3 日 程
 - 13時30分より 2015年度定期総会
 - 14時30分より 講演
「当協会による
生物多様性ホットスポット選定について(仮)」
村上雄秀(むらかみゆうひで) 理事
 - 16時 閉会予定
- 会場案内** (横浜市中区南仲通 5-60)
- みなとみらい線 「馬車道駅」から徒歩1分
出口[5]馬車道口からエスカレーターをご利用になると便利です。
 - JR 「桜木町」駅、または、「関内」駅北口から徒歩8分
 - 市営地下鉄線 「関内駅」[9]番馬車道口から徒歩5分、「桜木町駅」から徒歩8分



行事報告

山のめぐみに触れあおう

2015年2月1日(日)

9:30 ~ 11:30 自然観察
12:00 ~ 13:00 山の恵み昼食
元湯玉川館

13:00 ~ 14:30

元湯玉川館ご主人 山本淳一氏

神奈川県自然保護協会副理事長 青砥

航次

14:30 ~ 15:30 温泉体験

15:40 解散

厚木市は一昨年、生物多様性あつぎ戦略
を策定しました。

神奈川県自然保護協会は、これに協力して普及啓発の事

業委託を受けています。

今回は「山のめぐみに触れあおう」というテーマの元、左のようなプログラムで行いました。

実は、この行事は昨年 2 月に計画したのですが、大雪のため中止になったものの再挑戦でした。



(上) 七沢森林公園、「ななさわの丘」から見る丹沢。

煤ヶ谷に至る手前の谷は、南の海から来た丹沢山塊が本州に衝突した所に刻まれた地球のシワという説明に悠久の

時の流れを感じました。

何も無いと思いきや、植物は春を迎える準備をし、昆虫たちもそれぞれに冬越しをしている世界を見ることができました。



(上) 冬の自然を見る。



(左) 話をする、元湯玉川館 山本淳一氏

山本淳一氏講話主旨

- ・温泉のルーツは七沢の里の人々の生活に根ざした歴史にあること。
- ・自然に魅せられた多くの文人墨客が訪れたこと。
- ・厚木の発展と共に開発の波が押し寄せたこと。
- ・失われゆく古民家を移築したり、山の雰囲気味わえる経営に心がけたこと。
- ・山に囲まれて何も無いようだが、景色、音、吹く風などを味わうことによって癒やしが得られ、思索を深めたり、創造への気持ちが湧くことを、庭の目の先を横切る広域獣害防止柵が目立つ事への批判を多少込めて。
- ・山からのめぐみを受けて癒やされる現代湯治（いまとうじ）の提唱。

3月5日・11日

= 貝塚遺跡から復元する平潟湾の生い立ち =

2回ともますますの天気に恵まれて実施することができました。参加社は両日併せて18名。途中は地学関係だけでなく、植物や野鳥にも目を向けながら歩きました。

コース：追浜駅 — 県立追浜高校 — 野島公園（室の木地区）— 野島公園展望台（昼食）— 八幡神社 — 称名寺（金沢文庫）

(右) 縄文海進の頃の平潟湾
時代を経るに従って貝塚の位置も変わって行くことが分かりました。



(左) 野島貝塚

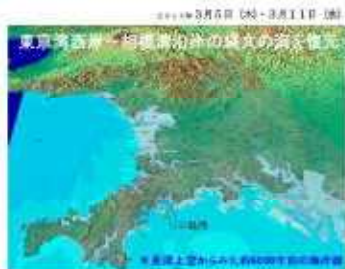
付近の地面を見ると細かい当時の貝のかけらを見つけることができました。(下)



(左) 松島講師と参加者



オナガガモつがい (称名寺の池)



横浜つながりの森自然教室

2015年 3月28日(土)
9:30～18:00

主催 神奈川県自然保護協会

協力 水たのぶるさと園上沢基産

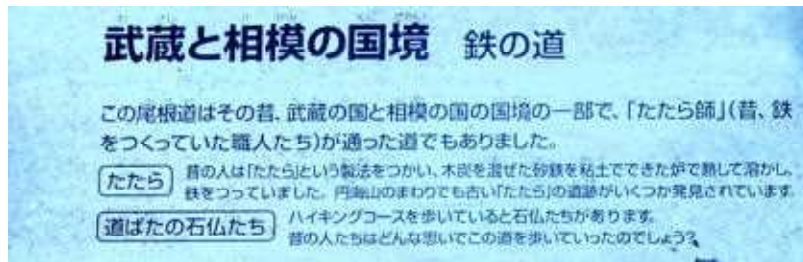


3月28日

FMヨコハマ エコロジープラン 「自然教室 Vol.8」

を神奈川県自然保護協会との共催で「横浜つながりの森」で行いました。参加者は親子連れ中心に、約80人でした。

木々の緑が芽吹き始めた頃、良いお天気に恵まれて楽しい一日を過ごすことができました。



歩いた道は、ほとんどが昔の相模の国と武蔵の国の国境の道で、近くには製鉄遺跡もあったところでした。



今は丘陵地ですが、2～3百年前は海の中だったので、貝化石（ツキガイモドキ類）の堆積（左）や海底に巣穴を掘ってくらし生物の痕跡（生痕化石）（右）も見られました。



癒やされる森歩きでしたが、所々にはクリハラリス（タイワンリス）によって樹皮が剥がれて無残な木もあります。（左下）

しかし、見かけたリスはかわいいものでした。リスに罪はなく、こうなるようにしてしまった人の行為が責められることを参加者の方々に分かってもらえたと思います。



最後は金沢自然公園、ののほな館の前で音楽の時間。
わたなべだいすけ（D.W. ニコルズ）さんのミニコンサートでした。

神奈川出身のわたなべさんのふるさとを思う歌にみんなが手拍子で応え良い時間が過ごせました。

この日の様子は、3月30日の午後、DJ ミツミさんの「いいね！グッドフォーユー」の番組中にオンエアされました。



神奈川県内自然保護ニュース

（このページに掲載する情報をお寄せください。）

神奈川県内 生物多様性ホットスポット 190箇所

多くの皆様から応募いただいた、生物多様性ホットスポットは最後のまとめ調整中です。

正式の発表は、6月14日の総会後の講演の中で行いますが、その前に次号のニュースレター（総会前に発行予定）に掲載する予定です。

ご協力いただいた方にはお待たせして申し訳ありません。

渋沢霊園問題

危惧されていた不用意な工事

毎日新聞に以下の記事が掲載された。許可した秦野市の生物多様性に関する意識の希薄さを感じます。

また保安林解除を妥当とした県にできることはないのでしょうか。その気持ちがあれば、沖縄・辺野古に向き合う翁長知事ほどの困難はないと思いますが、法の文面にとらわれず、その精神を生かす行政が望まれます。

どこかの国には、憲法すら都合良く読もうとしている人たちがいるのですから。

秦野・八国見山霊園開発問題:計画地、ノスリが営巣か 反対住民、きょう工事中止を市に要求

毎日新聞 2015 年 05 月 08 日 神奈川版

秦野市渋沢の八国見（やくにみ）山（319メートル）の大規模霊園開発問題で、現場の近くに県のレッドリストで絶滅危惧種に指定されているタカ科「ノスリ」が営巣している可能性が高いことが分かった。

霊園建設に反対する住民グループ「渋沢丘陵を考える会」（日置乃武子代表）メンバーが6日、自然観察のため霊園計画地（約19・9ヘクタール）の周辺を現地調査。霊園への進入道路工事現場から約120メートル離れた森からノスリ2羽が飛び立ち、近くで「ピーヨ、ピヨ」と鳴く声を確認した。

周辺では今年1～3月にかけてノスリ2羽の飛び姿がたびたび目撃され、繁殖につながる求愛行動も見られた。4月に入ってから空を飛び姿がほとんど確認できなくなり、営巣の可能性があるとみられていた。

このため、同会は「ふ化したヒナが成長して飛び立つまで、霊園と進入道路の建設工事の中止」を事業者に指導するよう市に対して要請してきた。同会は8日、改めて工事中止を市に要求する。

霊園開発を巡って事業者が県と市に提出した環境保全対策では、環境アセスの継続的なモニタリング調査を行い、結果を市に報告するほか、タカ類の営巣を確認した際は工事の中止を含めて対応することになっている。モニタリング調査結果は2月から公表されていないため、同会は再三

にわたって公表を求めている。【高橋和夫】

秦野・八国見山霊園開発問題:市、ノスリ営巣認める 霊園計画地、事業者と話し合いへ

毎日新聞 2015 年 05 月 09 日 神奈川版

秦野市渋沢の八国見山（319メートル）の大規模霊園開発計画地付近で確認された、県レッドデータリストの絶滅危惧種・タカ科「ノスリ」の営巣について、市が4月下旬に事業者から報告を受けていたことが分かった。8日、工事中止を申し入れた自然保護グループ「渋沢丘陵を考える会」の日置乃武子代表らに明らかにした。

市が報告を受けていた営巣場所は、中井町松木地区。6日に自然観察で訪れた同グループのメンバーが鳴き声を聞いたのと同じ場所で、雌が抱卵しているとみられる。市は、営巣地が計画地の区域外にあることから、工事を強制的に中止させる行政指導は困難とする一方で、来週にも工事の一時休止を含めた対応ができるかどうかを事業者と話し合う。

工事中止を求めたのは同会の日置代表ら4人で、市側は北村徹環境経済部長と橋本晋一環境保全課長が対応した。日置代表らは、事業者が市の墓地経営許可を受ける際に交わした「工事に起因して猛きん類に悪影響が及ぶ可能性が認められた場合、工事を中止する」との取り決めを順守させるよう求めた。

橋本課長は営巣を確認した事業者に対し、人が立ち入れない措置を講じることや、営巣に影響を与えない範囲で監視を続けることなどを指示したことを明らかにした。事業者側はこれを受け、立ち入り禁止と営巣行動を24時間観察する監視カメラの設置などの対応を取ったという。また、市は営巣地の近くにある残土の仮置き場へ行き来する残土運搬車の騒音がひどくならないよう、事業者に求めたという。

日置代表らは、ノスリが巣立って自らエサを取れるようになるまでの約2カ月間の工事ストップを事業者に要請するよう求めた。北村部長は「事業者と話し合い、霊園もできてノスリの営巣もできるような対策を考えたい」と話した。【高橋和夫】

神奈川県環境行政

新アジェンダ 21 かながわ改訂案

9月に公表の運び

アジェンダ 21 かながわは 1993 年に制定され、2004 年に改訂され「新アジェンダ 21 かながわ」になりました。しかし、時代と共にそぐわない部分も出てきたことから、2010 年に一度改訂作業が始まりました。ところが、2011 年東日本大震災とこれに伴う原子力発電所事故で、エネルギーの将来見通しが立てられない状況になり中断していました。

昨年 8 月からワーキンググループが作られ検討してきました。パブコメも終わり、現在は県民に親しみやすいネーミングの検討など最終調整中です。

（新アジェンダ 21 かながわ改定案概要・・・神奈川県環境計画課資料による）

1 神奈川の持続可能な社会を目指して

- （1）経緯（略）
- （2）見直しの視点

「新アジェンダ 21 かながわ」改訂後の社会環境の変化に対応する具体的な行動を提案するため、次の視点をもっ

て、中期的な行動計画の内容を整理しました。

ア 主体の明確化・行動メニューの具体化

行動の主体を明確にし、各主体が自発的に取り組めるような内容とする。

イ 行動メニューの集約・重点化

重点的に取り組む行動メニューを設定する。

ウ 新規要素の追加

最近の環境を取り巻く状況を加味して、今後必要と考えられる行動メニューを取り上げる。

（3）目指す社会

地球環境は悪化の一途をたどっており、このままでは取り返しのつかない事態に陥ります。これには大量生産、大量消費、大量廃棄に代表される私たちのライフスタイル（生活様式）が深く関係しています。

地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、熱帯雨林の減少、砂漠化、野生生物種の減少、海洋汚染、有害廃棄物の越境移動などがさらに進行すれば、私たちの子や孫は、現在よりも劣悪な環境のなかで生活すること

を強いられます。

さらに、水や森林などの自然資源が枯渇してしまうと人間の生活に大きな影響を及ぼします。

地球規模で見ると、現在でも貧困は解消されていません。世界人口 70 億人のうち、5.8 人に 1 人が 1 日 1 ドル以下の生活をしています。

安全な水源を利用できない状況の中で暮らしている人々の数も約 7 億 5 千人いるといわれます。

地域によっては、成長のために最低限必要な栄養やカロリーさえ摂ることもかなわず、命の危険にさらされている子どもたちが、たくさんいるのです。

現在と将来のあらゆる人々が、良好な環境のなかで安心して生活を送ることができる社会、それが持続可能な社会です。

私たちは、次の世代のために良好な環境を残さなければなりません。

それぞれの地域の特性に応じて、あるいは時代の変化に従って、そこに住む人々みんなが意見を持ち寄り、話し合いをとおして、未来を考え、お互いを思いやり、人間だけでなくすべての生き物が共に、幸せに生きる社会を具体化していくことが大切です。

「改訂新アジェンダ 21 かながわ（仮称）」が目指している到達点も、まさにそのような「持続可能な社会」です。

神奈川においても、約 910 万の人口をかかえ、県民経済は県内総生産（GDP）で約 30 兆 2,500 億円に達し、オーストリアやデンマークにも匹敵する活動が展開されている地域として、持続可能な社会の実現に向けた真剣な取組が求められています。

神奈川県民として、地球市民として、国境を越え、世代を越え、一人ひとりが身近なところから行動を起こしましょう。

2 長期的なビジョン（将来像）

個人、企業、行政、団体の参加と協働によって、実現すべき神奈川における持続可能な社会について、2033 年の姿を表した長期的な「ビジョン（将来像）」です。

「2033 年、わたしたちの神奈川では・・・」から始まる改訂前の文章から、海の部分で「昔の姿に戻った干潟や湿地には貝やカニ、魚がいて、たくさんの水鳥がやってくる。」の箇所だけが変わります。

3 中期的な行動計画

長期的なビジョンを見据えて、今後 10 年間を目途にして中期的に取り組むべき「行動計画」を作成しました。

これらを 8 分野 10 項目の行動指針に整理して、具体的な行動メニューを提案しています。

それぞれの行動メニューにおいて、個人で取り組めるもの、企業・行政・団体が取り組むものに分けて記載をしました。

「新アジェンダ 21 かながわ」では「二酸化炭素排出量の削減目標」についての具体的な数値目標を設けていましたが、行政計画である神奈川県地球温暖化対策計画の改定を踏まえて設定することとします。二酸化炭素排出量以外の目標についても、必要に応じて設けることとします。

分 野	行動指針の項目	行動メニュー数	
		個人	その他
1 エネルギー	1 再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの取組	5 (2)	7 (3)

	を拡大します		
2 ごみ(廃棄物)	2 3Rの取組を拡大します	6 (3)	8 (1)
	3 廃棄物の適正処理を徹底します	2 (1)	3 (1)
3 そら（空）	4 きれいな空気と星空をつくります	3 (1)	7 (1)
4 みず（水）	5 将来にわたってきれいで豊かな水を確保します	3 (2)	5 (1)
5 みどり・つち（緑・土）	6 里地里山、森林、水辺の豊かな自然を守る取組を拡大します	2 (1)	5 (1)
	7 農林水産業への理解を深め、地産地消の取組を拡大します	5 (2)	6 (3)
6 まちづくり	8 みんなが参加して環境と共生するまちをつくりま	4 (2)	3 (1)
7 ライフスタイル	9 環境に配慮したライフスタイルや事業活動を拡大します	4 (1)	6 (1)
8 学び	10 環境への関心を高め、学び、行動する人を増やします	3 (1)	3 (1)
8 分野	10 項目	37 (16)	53 (14)

※ 行動メニュー数の（ ）内は、重点行動メニュー数
このうち、分野 5 行動指針 6 の部分を抜粋すると、

行動指針 6

里地里山、森林、水辺の豊かな自然を守る取組を拡大します

里地里山、森林、水辺は、水源のかん養、山地災害の防止、生態系の保全、二酸化炭素の吸収など多面的かつ重要な機能を果たしています。この機能を維持し、次世代に豊かな自然を引き継ぐために、さまざまな主体が連携して、自ら行動していく必要があります。

■ 行動メニュー

（重点的に取り組む行動メニューには★を、子ども（小学生）でも取り組める行動メニューについては、※をつけています。）

【個人】

※★ 1	森林や水辺の生物多様性を守るため、育てられなくなった生きものを、屋外に放さないようにします。
※ 2	里地里山、森林、水辺を守る活動に関心を持ち、ボランティアなどに積極的に参加します。

【企業・行政・団体】

		企業	行政	団体
★ 1	様々な主体が連携して、里地里山の保全や森林を守る活動に参加協力します。	◎	◎	◎
2	森林の多面的機能を発揮させるため、県民や森林所有者等と連携して、森林再生を進めます。	◎	◎	◎
3	山間地域との交流のため、自然観察会など多くの交流の機会を設けます。	◎	◎	◎
4	流域の環境を良くするための取組に関する情報の収集・蓄積を行い、これらを広く紹介します。	◎	◎	◎
5	海、河川、湖沼、湿地などでたくさんの生きものが共存する水辺を再生・保全する活動に参加・協力します。	◎	◎	◎

■ 事例紹介

- 里地里山の保全について
- 里地里山を守る活動の事例
- 森林を守る活動の事例（森林再生パートナー制度）
- みどりを守る活動の事例（ナショナル・トラスト運動

活動／緑の募金活動）

今後6月県議会の承認を受け、8月には公表の運びとなる予定です。その後以下に効果的に県民にアピールし賛同の輪を拡げられるかが課題であり、重要なことです。

神奈川県生物多様性地域戦略（2016-2020）

生物多様性基本法（2008,平成 20 年）では地方公共団体にも、それぞれの地域に応じた生物多様性地域戦略を定めるよう努力するよう求めています。昨年 11 月現在都道府県レベルでは、33 団体で制定済みです。また県内市町村では、横浜市（'11.4）、厚木市（'13.3）川崎市（'14.3）で制定されています。（環境省 HP より）

神奈川県では 2010 年に学識経験者、自然保護団体代表者等による生物多様性検討委員会を設置し、2011 年 7 月提言書をまとめ県知事宛提出しました。

その後、行政での動きが見えなくなり、神奈川県自然保護協会は戦略策定に向けて具体的な動きをするよう機会を捉えて要望してきました。

2014 年 2 月県は新たに「神奈川県生物多様性一次戦略検討委員会」を発足させ動き出しています。

前記委員会での検討は 2 月に終わり、現在庁内調整、議会承認等の段階で、2016 年度実施の予定です。

計画は、「神奈川みどり計画」の後継計画に位置づけられつつ、より生物多様性保全の視点を取り込んだものとな

っています。例えば、地域で言えば沿岸域（自然海岸、海岸植生、藻場）を含むこと、対象としては、外来種、鳥獣保護、自然再生にも関連を持たせたことが考えられています。

また、生物多様性を考えるとき地球温暖化などの地球規模の課題があることも盛り込まれる予定です。

では、来年度この戦略が始まると直ちに県内自然の保全に手が打てるかというところは行きません。

例えば、生物多様性見える化プロジェクトというものがあると思いますが、その中で「県内自然環境の状況把握」に関する行動計画案を見ると、

'16 仕組みの検討 → '17 試行 → '18 以降 取組の実施

という感じで、具体的な動きは3年先まで待たなければいけないものが多くなりそうです。ただ、この例で言えば、神奈川県域では植物や動物の種類の把握に関して、国内でも高いレベルにあること、本協会による生物多様性ホットスポット選定の資料があることなどからもっと迅速な進行が考えられます。

平成26年度かながわ地球環境賞

平成 27 年 2 月 9 日、NPO 法人自然塾丹沢ドン会が受賞しました。（本紙別冊 p.12 に関連記事）

かながわ地球環境賞は、地球環境保全に向け、「新アジェンダ 21 かながわ」に定める中期的な行動計画に沿った実践的な活動や「神奈川県地球温暖化対策推進条例」、「神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」に基づく優れた取組を行った団体（企業、行政、学校、NPO等）や個人に対し、その功績を称え、神奈川県と、かながわ地球環境保全推進会議が表彰するものです。

丹沢ドン会は秦野市名古木で、里山保全活動を毎年募集する自然塾という形で都会の人の輪を拡げるユニークな活動をしている団体で本協会から推薦しました。

以下表彰式資料から引用。

NPO法人自然塾丹沢ドン会

丹沢の里地・里山の保全・再生活動



都市と農村を結びながら、棚田の復元、里山の管理活動を通じた食の安全や生物多様性の実現を目指し、伝統的な農村風景である里地・里山を専門家の知見を得ながら保全・再生し、次の世代に引き継ぐための事業や仕組みづくりを行っている。

また、子どもが自然に親しむ田んぼの水生生物を観察する「田んぼの生きもの観察会」やシンポジウム・学習会などを開催している。

さらに、都市住民の米づくりなどの農業体験や自然体験の場として「丹沢自然塾」を毎年開催するなど里地・里山の保全・再生の取組を実践している。

行事情報

本会後援行事

2015 第30回 江の島モース祭

2015 年 5 月 31 日（日）

【第 1 部】「江の島モース記念碑 碑前祭・臨海実験所跡
碑除幕式」

★ 碑前祭 江の島北緑地モース記念碑前
午前 10 時開会 午前 10 時 30 分終了

★ モース臨海実験所跡碑 除幕式

【第 2 部】記念講演会テーマ「モースの縁と恩」

明治期日米文化交流史の系譜

ー フェノロサ・ピゲロ・松本文恭・他 ー

講 師 村形明子氏（フェノロサ学会前会長）

日 時 平成 27 年 5 月 31（日）午前 11 時～ 12 時

会 場 江の島アイランドスパ 4 階

【第 3 部】《交流昼食会》 特製モース・ランチ

会 場 江の島アイランドスパ 4 階 講演会に引

き続き 12 時頃から

参加費 昼食会参加者は
2,500 円

（交流昼食会参加は下記へお申込み
下さい）

連絡先 モース研究会 TEL
0466-26-3028

〒 251-0025 藤沢市鵜沼石上
1-1-1 江ノ電第 2 ビル 7 階



E. S. モース博士

川名自然フォーラム 第64回公開例会

新林公園のクモの生態

講師：池田博明氏（東京蜘蛛懇話会）

日時：2015年6月21日（日）

14：00～16：00（13：30より受付）

会場：藤沢市民会館第2会議室（市民会館事務棟）

主催：川名自然フォーラム

後援：神奈川県自然保護協会・日本野鳥の会神奈川支部・
日本鳥類保護連盟神奈川支部・藤沢探鳥クラブ・藤
沢グリーンスタッフの会・神奈川県植物誌調査会藤
沢グループ・川名里山レンジャー隊・藤沢クマゼミ
研究会・丹沢自然保護協会・（申請中含む）

自然を学ぶ川名フォーラム第64回例会は東京蜘蛛談話

入場無料 直接会場において下さい。

（資料代のカンパをお願いします）

会の池田博明氏をお願いいたしました。

藤沢市内のクモの調査は他分野の自然情報に比して十分
なされていません。

当会では、43回（2011 年）にクモ観察会を実施した
ところもっと知りたい参加者の皆様のご要望で、46回
（2012 年）にも講師をしていただき好評をいただきました。

池田先生も手つかずの公園内のクモの生態に興味津々で
おられ、所属する会の 2014 年度集中調査場所とし、年間
4回の調査を実施されました。

その興味深い「調査の報告とクモってどんな生きものな
のだろう」を含めてクモの不思議をやさしくお話し下さい
ます。

丹沢ボラネット 講演会

丹沢の哺乳類は今 6月27日（土）13時 ー 15時 自然環境保全センターレクチャールーム

講師 丹沢野生動物研究会 山口喜盛氏

丹沢の哺乳類と言えばシカが注目を浴びています。しか
しツキノワグマやニホンカモシカについては余り情報があ
りません。また、コウモリやネズミ類などの小動物は環境
の変化に敏感です。そのような話の中で丹沢再生にかかわ
る問題点に示唆を与えてくれる事が期待されます。

講師の 山口喜盛氏は、元丹沢湖ビジターセンター所長。
2012 年には、ネイチャーガイド「丹沢の自然図鑑」を著し
ています。神奈川県自然保護協会では、生物多様性ホット
スポット選定委員として哺乳類と鳥類の担当をお願いして
る方です。

多摩川河口干潟の自然を考えるシンポジウム2015（仮）

日時：10月31日（土）13：30開始予定 18：
00終了予定

場所：川崎ラゾーナ「プラザソル」JR 川崎駅直結です。

定員200名

多摩川河口の自然を総合的に考えるシンポジウムです。

多摩川河口干潟は東京湾の生物多様性を代表する自然で
す。しかし、2014 年に羽田連絡道路の建設が具体化して

来ました。距離5 Km の間に5本目の道路を建設すること
で干潟の自然どのような影響があるのでしょうか？

内容：未定です。NGO や行政、研究者などによる講演
とパネルディスカッションです。

問合せ：日本野鳥の会神奈川支部 石井副支部長
045-844-1303

アジェンダの日ブース出展

5月30日(土)、5月31日(日)

横浜港 象の鼻パーク

「地球環境イベント・アジェンダの日」が5月30日(土)、5月31日(日)に日本大通・象の鼻パークで開催されます。

(TVK主催の「2015 秋じゃないけど収穫祭」も同時開催)

神奈川県自然保護協会は、象の鼻パークの大栈橋寄り12番ブースを借りて展示を行います。

小さなテントひとつですが、在来の生物とそれに脅かす外来生物を写真と実物の展示を行います。

また、赤レンガ倉庫地区から山下公園にかけての地域にある路傍の草花(外来種がほとんど)を1時間程度で見えて歩く「お散歩観察会」を随時行う予定です。

普段見られない珍しい動植物にふれあえる機会でもありますので是非お出ください。

創立 50 周年記念行事に向けて

本年は神奈川県自然保護協会が設立されてから 50 周年に当たります。

記念となる行事は、役員会の中で検討されていますが現在具体化しているのは、以下の行事です。

I パネル展示 & コンサート 参加無料

- ・会場：新都市プラザ (横浜駅東口そごう前広場)
- ・日時：2015 年 10 月 12 日(日)～13 日(月) 各日 11 時～18 時

・テーマ：

はじめよう！ かながわの自然を未来へ つくろう！ 山・里・川・海と街をむすぶ「ひとネット」

・展示内容(案)：

- ①〈プロローグ〉かながわの自然と神奈川県自然保護協会の活動 50 年の歩み

＊高度経済成長期以降の神奈川の自然の変遷を概観し、協会 50 年の自然保護活動と支えた人を写真と解説で

- ②命つなぐ神奈川の自然〈特色と課題〉航空写真で見る神奈川の過去と今

＊山・里地里山・川・街・海をつなぐ自然・命の循環を写真と解説で(丹沢・箱根・三浦・相模川・多摩丘陵ほか)

- ③命かがやく神奈川の自然〈守りたい自然・神奈川のホットスポット〉

＊代表的なホットスポットの写真と解説・地図で身近にある自然の意味と大切さを知ってもらう

- ④自然を守る人たち〈活動団体の紹介〉

＊県内の自然保護活動団体の中から、地域・活動テーマなどを勘案して 10 数団体。写真と解説で

- ⑤〈エピローグ〉かながわの自然の未来(イラスト：丹沢・箱根・相模湾・街の緑ほかの夢を描く)

- ⑥市民からのメッセージ：神奈川の自然への一人ひとりの思いを付箋に書いて貼るコーナーを設ける

＜コンサート(案)＞

展示場所で

日時：10 月 12 日(日)

11:00～30(?) 14:00～30(?) 内容未定

II 記念講演・活動報告会・パネル展示 懇親・交流会

・テーマ：

はじめよう！ かながわの自然を未来へ つくろう！ 山・里・川・海と街をむすぶ「ひとネット」

＜パネル展示＞参加無料

- ・会場：神奈川労働プラザ(3階ロビー)
- ・日時：2015 年 10 月 17 日(土) 11 時～17 時
- ・展示内容：新都市プラザに展示したパネルを流用・展示する
- ・新都市ホールに参加した自然保護活動団体以外の参加も可能(団体)

＜記念講演 & 自然保護活動団体報告＞参加無料

- ・会場：神奈川労働プラザ(階)
- ・日時：2015 年 10 月 17 日(土) 13 時～17 時
- ・記念講演：13 時～14 時 30 分 講師未定
- ・自然保護活動団体報告：15 時～17 時 6～8 団体
- ＊100～150 人を想定

＜懇親・交流会＞有料

- ・会場：神奈川労働プラザ(階 レストラン)
- ・日時：2015 年 10 月 17 日(土) 17 時～18 時 30 分
- ・会費：1 人 3000 円
- ＊50～80 人を想定

柴田敏隆さんは日本の自然観察・自然保護の分野に大きく貢献し、私たちに多くのものを残して下さいました。

生前に親交の深かった方々にお集まりいただき、その功績と思い出を大いに語り合ひましょう。柴田さんゆかりの品々を展示し、映像も上映します。

※ 平服や観察会に参加するようなスタイルでご参加下さい。

参加費 6,000 円(含 資料代) 同伴参加者 4,000 円
資料のみ 2,000 円(後日送付)

事前振込をお願いします。(振込方法次ページ))

柴田敏隆さんを語る会

2015 年 9 月 12 日(土)

かながわ労働プラザ

会場 12:30 開会 13:00

閉会 16:00

本協会副会長・副理事長として創設当初から尽力いただいた柴田敏隆さんは、昨年 12 月 12 日逝去されました。



記入されたものでかまいません。

プログラム（立食形式）

- 第1部 県立横須賀高校生物部と横須賀市博物館
第2部 映像で見る柴田敏隆さん
第3部 野鳥と共に
第4部 自然観察会と自然保護

主催 柴田敏隆さんを語る会 実行委員会
問合せ 青砥 （神奈川県自然保護協会事務局）

申し込み方法

参加費を郵便振替で 8月10日（月）まで

通信欄に氏名・電話番号・同伴参加者名を明記の上、「三浦半島自然保護の会」（００２９０－６－６９９３）あてに。

振込用紙は、青砥の所にあります。下の見本を参照して

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	□納税号・番号は不明でないよう記入してください。		
口座振込	口座振替 (口座通で振込)		
002906	6993		
三浦半島自然保護の会			
柴田隆隆さんを語る会参加申込書 同伴参加者名 (資料あり @ 6,000 円)		金額 料金	
同伴参加者名 (資料なし @ 4,000 円) 資料のみ (2,000 円)		備考 合計 円	
氏名 (代表参加者) (資料あり 6,000 円)		日 附	
(ご滞連先電話番号) - -) ※納税・送金等事務をのぞくものではない。(印字より厳格) ※印字より下部には印字を記入しないやむを得ない。		印 印	

振替払込請求書兼受領証	
00	□納税号・番号は不明でないよう記入してください。
002906	6993
三浦半島自然保護の会	
柴田隆隆さんを語る会参加申込書 同伴参加者名 (資料あり @ 6,000 円)	
同伴参加者名 (資料なし @ 4,000 円) 資料のみ (2,000 円)	
氏名 (代表参加者) (資料あり 6,000 円)	
(ご滞連先電話番号) - -) ※納税・送金等事務をのぞくものではない。(印字より厳格) ※印字より下部には印字を記入しないやむを得ない。	

総会議案書（暫定版）

まだ監査を受けていないので暫定的なものです

2015 年度（第 1 2 回）神奈川県自然保護協会総会 議案書案

第 1 号議案 2014 年度事業及び決算報告（案）及び監査報告

2014年度事業報告

1 事業の成果

本年度活動のテーマを「海」とし、観察会など海を考える機会を多くした。

情報紙の発行や、講演会の開催、観察会等の企画、自然調査活動を通して神奈川県自然環境の特質を理解し、よりよい保全の在り方を追求する活動を行った。

推進に当たっては、地域開発計画への対応や生物多様性保全の啓発を意識し、特に厚木市が行う「生物多様性あつぎ戦略」推進事業の委託も2年目を迎え成果を上げた。

一方、課題として横浜市栄区の瀬上沢での開発計画や、渋沢丘陵の大規模墓地開発計画、川崎市から相模原市にかけてのリニア新幹線計画など、県内の自然の危機は未だに存在していることへの対応や、生物多様性保全の必要性について広く県民一般に対する啓発活動を一層進めることがあげられる。

また、経営の基本となる会員からの会費収入減少傾向は依然として続いている。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

- ・ 講演会 日時2013年6月14日14時30分から
従来の講演会に代わり映画「流（ながれ）」（愛川町で水生昆虫やカワラノギクの調査復元に取り組むドキュメント）を上映した。

イ 公開勉強会開催事業

本年度未開催。

ウ 自然観察会

- ・ 地形・地質観察会（貝塚遺跡から復元する平潟湾）

の生い立ち) 2015年3月5日 3月11日2回
計画 参加者21名 スタッフ5名

- ・ 自然観察指導員連絡会（グリーンタフ）との共同
観察会 1回
城ヶ島の自然（海辺の春の自然 & 地球の造形）
5月17日 参加者10名スタッフ3名
- ・ 自然保護の現場見学会「湘南の海岸林」 9月1
4日 参加者15名 スタッフ3名
- ・ 三崎臨海実験所見学・勉強会「奇跡の海・相模湾－
三崎東大臨海実験所で磯の観察と講話－」参加者
15名スタッフ4名（三崎臨海実験所と共催）
- ・ つながりの森自然教室（FM横浜と共催）
2015年3月28日 参加者80名 スタッフ7名（協
力：ホテルのふるさと瀬上基金）

工 厚木市生物多様性地域戦略事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、さがみ自然フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

- ・ さがみ自然フォーラムフォーラム

12月21日

- 厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアーを2回実施した。
「川のめぐみ」8月5日
「山のめぐみ」2015年2月1日
それぞれ参加者40名
- 外来種啓発事業「アメリカザリガニワークショップ」8月20日
- えこまるマーケットブース出展（外来種啓発）10月26日
- 厚木市立妻田小学校ビオトープづくり（継続）。

(2) 広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」67号 未発行

イ 啓発紙発行事業 2

情報紙「ニュースレター」 75号から80号まで
6回ページ総計 本紙別冊併せて178ページ

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実に努めた。

エ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実を図り、アジェンダの日イベント他機会を捉えて掲出した。

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア さがみ自然フォーラム開催（再掲）

（一昨年までの「野生動植物保全フォーラム」から改名したもの）

県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行う。（厚木市との協働）

・日時 2014年12月21日

・会場 厚木市文化会館 小ホール、展示室

講演 東京農業大学元学長 進士五十八氏
ポスター展示及びポスターセッション

イ 三崎臨海実験所見学・勉強会「奇跡の海・相模湾

ー 三崎東大臨海実験所で磯の観察と講話 ー」（再掲）

ウ 行事の後援

・江ノ島モース祭（モース研究会：5月24日開催）

・鎌倉若宮大路のクリーニンググリーン運動
（鎌倉緑の会：6月1日開催）

・川名自然フォーラム主催行事

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト

県内の自然の状況について把握し評価する事業県民や団体からの応募事例の評価検討を行う。選定委員会
合 4/2、12/16、1/23

・他 自然全般

(5) 行政への働きかけ・協働

県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出。

・副知事との懇談会

県内各地の問題を捉えて意見交換を行った。

・瀬上沢開発に関して

横浜市栄区における上郷開発都市計画提案案件についての陳情 横浜市長及び神奈川県知事宛
7月31日

・厚木市「(仮)健康こどもの森」計画

ワーキンググループに参加し現地視察及び意見具申
6/17, 7/11, 12/19, 2/20, 3/26

・神奈川県生物多様性第1次戦略検討委員会参加

2015年度中に策定、2016年度実施予定

・新アジェンダ21かながわ改訂ワーキンググループ参加

・厚木市生物多様性推進委員会参加

・厚木市相川地区相模川水辺ふれあい懇談会参加

(6) 2014年度・役員が協会代表として行政および他機関の役職についたもの。

（藤崎理事長）

・NPO法人かながわアジェンダ推進センター副代表

・小網代の森保全対策協議会委員

・かながわ地球環境保全推進会議委員

（新堀前理事長）

・丹沢大山自然再生委員会副委員長

・神奈川県鳥獣総合対策協議会会長

（青砥副理事長）

・神奈川県環境審議会委員

・環境農政局主管公共事業評価委員会委員

・水源環境保全再生かながわ県民会議委員

3 事務局体制

（運営組織）

活動の広がりに伴い作業量が多くなることに対応して、役員の役割分担を明確にするための組織体制の確立に努めた。

4 会議の開催

総会 6月14日 神奈川県立歴史博物館

理事会 7, 10, 1, 4の各月第2火曜日

運営委員会毎月 第2火曜日運営委

2014年度決算報告

科 目	金 額 (円)			備 考
	予算	実績	増減 (△減)	
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	640,000	570,000	△70,000	会費 内過年度分 ¥30,000-
2 事業収入 自然観察会	150,000	191,000	41,000	F Mヨコハマ関係 ¥86,400-未収
3 受託金・補助金 受託金	(300,000)	(0)	(△ 300,000)	厚木市生物多様性戦略 (未収)
4 寄付金	100,000	93,651	△6,349	内 書籍¥12,000-
5 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
6 雑収入・利子他	4,000	1,477	△2,523	内 ¥1,320- 県博講堂借用返戻金
今期収入合計 (A)	1,424,000	1,086,128	△337,872	未収金 ¥386,400

預かり金	0	24,000	24,000	15年度以降前受け会費他
前期繰り越し収支差額	900,965	900,965	0	
収入合計(B)	2,324,965	2,011,093	△313,872	
II 支出の部				
1 事業費	1,459,000	1,028,279	△430,721	
(1) 普及啓発事業	115,000	490,590	375,590	
ア シンポジウム・講演会開催事業費	(20,000)	(0)	(△20,000)	
イ 公開勉強会開催事業	(30,000)	(0)	(△30,000)	
ウ 自然観察会開催事業	(50,000)	(484,590)	(434,590)	講師・スタッフ謝礼・バス借り上げ
エ 啓発ブース出展費用	(15,000)	(6,000)	(△9,000)	アジェンダの日出展料
(2) 企画事業費	200,000	116,859	△83,141	
ア 厚木市イベント	(100,000)	(105,897)	(5,897)	チラシ印刷、ポスターフレーム他
イ 保全事業	(100,000)	(10,962)	(△89,038)	ビオトープ維持管理
(3) 刊行事業	887,000	209,608	△677,392	
ア 啓発誌発行事業 1	(600,000)	(0)	(△600,000)	神奈川の自然 67号未刊行
イ 啓発紙発行事業 2	(220,000)	(171,404)	(△48,596)	ニュースレター 75号～80号
ウ ホームページの運営事業	(60,000)	(38,204)	(△21,796)	
エ その他印刷物作成	(7,000)	0	(△7,000)	協会紹介パンフ等 未作成
(4) 他団体との協働・支援	122,000	177,510	55,510	
ア さがみ自然フォーラム	(100,000)	(165,510)	(65,510)	協力者謝礼・チラシ印刷他
イ 他団体会費	(22,000)	(12,000)	(△10,000)	丹沢大山再生委員会。丹沢ボラネット
(5) 研究	135,000	33,712	△101,288	
ア 自然環境調査費	(120,000)	(18,712)	(△101,288)	ホットスポットワーク
イ 資料購入費	(15,000)	(15,000)	(0)	日本自然保護協会
2 管理費	326,000	339,612	△13,612	
(1) 役員報酬	0	0	0	無償
(2) 事務局人件費	0	0	0	無償
(3) 備品費	100,000	95,000	△5,000	償却費積立
(4) 消耗品費	50,000	10,554	△39,446	事務用品・用紙・電池など
(4) 役務費	8,000	18,932	10,932	コピー代・リソグラフカード・宅配便
(5) 交通費	50,000	52,460	2,460	交通費・駐車料
(6) 通信費	20,000	12,385	△7,615	連絡郵送代・行事開催連絡他
(7) 会議費	94,000	137,550	43,550	会議会場費・弁当代
(8) 雑費・源泉所得税納入	4,000	12,731	9,371	講師謝礼源泉徴収税支払い他
3 予備費	39,965	0	△39,965	
4 事業積立	500,000	500,000	0	
5 未払い金	0	0	0	
当期支出合計(C)	2,324,965	1,867,891	△457,074	
当期収支差額(A)－(C)		△781,763		
次期繰越収支差額(B)－(C)		143,202	内 前受け会費預かり分 24,000-	

第2号議案 2015年度 事業計画及び予算（案）

2015年度 事業計画（案）

1 事業活動方針

創立50周年を迎え、これまでの伝統の上に築く新たな出発と位置づけ、県内で自然保護を推進する多様な主体との連携を深め、豊かな自然と共生することによって幸福感あふれる県民生活が実現することの価値観を広める啓発活動を行う。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

今年まとめる、生物多様性ホットスポットを題材に一般県民を対象に保全と自然と人とのよりよい関わり方を探る講演会やシンポジウムを開催する。

・選定したホットスポットのについての講演会（総会後）

・ホットスポット啓発のシンポジウム

開催時期未定

イ 公開勉強会開催事業

機会を捉え時宜を得た話題について開催

神奈川県環境基本計画

海の問題

生物多様性地域戦略 など具体未定

ウ アジェンダの日啓発 ブース出展

5月30日、31日 象の鼻パーク

エ 50周年記念啓発イベント

新都市プラザ（横浜駅東口そごう前）

10月12日、13日

オ 50周年記念自然保護団体活動交流会

10月17日 Lプラザ

カ 自然観察会

ホットスポットを対象とした自然観察会

9月頃県央方面

地形・地質観察会 2016年3月頃

他 随時

キ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働

厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施

に当たり、さがみ自然フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。

- ・さがみ自然フォーラム 2016年2月
- ・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアー実施
- ・あつぎ環境フェアでブース出展 10月25日
- ・特定外来種対策 啓発活動及び市民向け自然観察会と除去作業
- ・休耕田を使った自然学習(厚木市荻野小学校対象)

(2) 広報・刊行事業

ア 啓発誌発行事業 1

啓発誌「かながわの自然」67号

多くの県民に親しんでもらえるような楽しく、啓発的な内容とし、多くの県民への広報を目的とする。

イ 啓発誌発行事業 2

情報紙「ニュースレター」

NPOとしての活動に関する広報

行事に関する広報／県内の自然保護の動きに関する情報／神奈川県環境行政の動向に関する広報

など隔月を目標に発行する。

ウ ホームページの運営

印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実に努める。

エ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実に図り、機会を捉えて掲出する。

オ その他必要に応じて、協会紹介パンフレットづくりなど行う。

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア さがみ自然フォーラム開催(再掲)

県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行う。(厚木市との協働)

- ・日時 2016年2月10日～16日
- ・会場 厚木市市民活動プラザ(アミュー厚木)

県内活動団体からの報告

ポスター展示及びポスターセッション

講演会

イ 専門家派遣事業

- ・内容 協会会員のうちで自然に関する各分野の専門家を、必要とする団体等に対し指導・協力者として

派遣・及び機材の貸し出しをする。

- ・厚木市(仮称)健康こどもの森 企画事業ほか

ウ その他 必要な活動

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

- ・神奈川県内、生物多様性ホットスポットプロジェクト

1次まとめを行いマスメディアに対して広報すると共に啓発活動を行うと共に、今後の進め方について検討する。

(再掲)

- ・選定したホットスポットのについての講演会(総会後)

- ・ホットスポット啓発のシンポジウム開催時期未定

- ・他 自然全般

(5) 行政への働きかけ・協働

- ・神奈川県環境行政について、県民と担当部局の意見交換の場を設け、よりよい協働への機会を作る。
- ・県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出。

(6) 50周年記念事業 (再掲)

- ・50周年記念啓発イベント

新都市プラザ(横浜駅東口そごう前)

10月12日、13日

- ・50周年記念自然保護団体活動交流会

10月17日 Lプラザ

以上2つをメインとし、本年度ののすべての行事を50周年に冠を付けて行う。

3 事務局体制

資料印刷・現金出納・行事实施など協力者募集 理事も事情が許す限り、運営メンバーとして運営委員会に参加し実行体制の強化にかかわる。

4 会議の開催

総会 6月14日 13:00 神奈川県立歴史博物館講堂
理事会 年4回

運営委員会 (各月第二火曜日、1月のみ第三火曜日 18:30～)

会場：かながわ県民センター会議室 誰でも傍聴自由

2015年度 事業計画

月	日	曜	種別				内 容	事業内容 関連項目
			運営	室内	野外	発信		
4	8	水	○				さがみ自然フォーラム運営委員会	(1)キ (2)
	14	火	○				理事会 運営連絡委員会 705 18:30～	
	23	木			○	○	厚木市民対象 川のめぐみエコツアー ニュースレター発行予定	
5	12	火	○				運営連絡会 705 18:30～	(1)イ
	30	土	○			○	さがみ自然フォーラム運営委員会	
	31	日				○	)アジェンダの日 ブース出展	
6	9	火	○				運営連絡会 705 18:30～	(1)ア (2)
	14	日	○	○		○	さがみ自然フォーラム運営委員会 総会 講演「ホットスポット選定について」村上雄秀理事 ニュースレター発行予定	
7	14	火	○				理事会 運営連絡委員会 705 18:30～	
			○				さがみ自然フォーラム運営委員会 副知事との懇談会 ?	(5)
	11	火	○				運営連絡会 705 18:30～	

8		○			さがみ自然フォーラム運営委員会 ニュースレター発行予定	(2)
9	8 12	火 土	○	○	運営連絡会 705 18:30 ~ 柴田敏隆さんを語る会 さがみ自然フォーラム運営委員会	
10	6 12 13 17 25	火 月 火 土 日	○		○ ○ ○ ○ ○	(1)I (1)オ (1)キ
11	10	火	○		運営連絡会 18:30 ~ さがみ自然フォーラム運営委員会	
12	8	火	○		運営連絡会 18:30 ~ さがみ自然フォーラム運営委員会 ニュースレター発行予定	(2)
1	12	火	○		理事会 運営連絡委員会 18:30 ~ さがみ自然フォーラム運営委員会	
2	9 10 16	火 水 火	○	○	○ ×7 ○	(3)ア (2)
3	8	火	○		運営連絡会 18:30 ~ さがみ自然フォーラム運営委員会 地形地質観察会 「 」 「かながわの自然」発行予定	(1)カ (2)
			25	5	2	18
他に ・「かながわの自然」編集会議 ・50周年実行委員会 など						

2015年度予算（案）

科 目	金 額 (円)		備 考	
I 収入の部	前年度実績	本年度予算	比較 (△減)	
1 会費・入会金収入	570,000	580,000	10,000	
2 (1) 自然保護に関する普及啓発事業	191,000	150,000	△41,000	
ア 自然観察会開催事業	(191,000)	(150,000)	(△ 41,000)	参加費（交通費の他 1名 1,000円）
(2) 受託費・補助金	300,000	495,000	195,000	
ア 受託金	(300,000)	(495,000)	(195,000)	厚木市 生物多様性戦略事業費
イ 補助金	(0)	(0)	(0)	
3 寄付金	93,651	100,000	6,349	一般寄附及び書籍譲渡見返
4 神奈川県協賛金	230,000	230,000	0	
5 雑収入・源泉所得税預かり金	1,477	4,000	2,523	
6 前期末収金	0	386,400	386,400	
7 事業積立取り崩し		250,000	250,000	
当期収入合計(A)	1,086,128	2,195,400	1,109,272	
預かり金（前受け会費）	24,000	27,000	3,000	2016年度分以降前受け会費
前期繰り越し収支差額	900,965	143,202	△757,763	
収入合計(B)	2,011,093	2,365,602	354,509	

II 支出の部				
1 事業費	1,028,279	1,979,000	950,721	
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	323,390	585,000	261,610	
ア シンポジウム・講演会開催事業費	(0)	(120,000)	120,000	ポットスポットシンポジウム等
イ 自然観察会開催事業	(317,390)	(150,000)	(△ 167,390)	講師謝礼他経費
ウ 啓発ブース出展費	(6,000)	(15,000)	(9,000)	アジェンダの日出展料外
エ 啓発イベント費用	(0)	(300,000)	(300,000)	50周年記念展他
(2) 企画事業費	284,059	250,000	△ 34,059	
ア 厚木市イベント	(273,097)	200,000	(△ 73,097)	外来生物啓発・環境フェア出展他
イ 保全事業	(10,962)	50,000	(39,038)	ビオトープ維持管理
(3) 刊行事業	209,608	847,000	637,392	
ア 啓発誌発行事業 1	(0)	(600,000)	(600,000)	かながわの自然 67号
イ 啓発紙発行事業 2	(171,404)	(200,000)	(28,596)	ニュースレター
ウ ホームページの運営事業	(38,204)	(40,000)	(1,796)	
エ その他印刷物作成事業	(0)	(7,000)	(7,000)	パンフレット・ポスターなど

(4) 他団体との協働・支援	177,510	212,000	34,490	
ア 野生動植物保全フォーラム	(165,510)	(200,000)	(34,490)	運営費 当日資料 講師謝礼他
イ 他団体協賛金	(12,000)	(12,000)	(0)	丹沢大山自然再生委員会 丹沢ボラネット
(5) 研究調査費	33,712	85,000	51,288	生物多様性ホットスポットプロジェクト他
2 管理費	339,612	326,000	△13,612	
役員報酬	0	0	0	無償
事務局人件費	0	0	0	無償
備品費	95,000	100,000	5,000	備品償却費 他
消耗品費	10,554	50,000	39,446	事務用品・会議資料用紙代
役務費	18,932	8,000	△10,932	コピー 宅配便送料等
交通費	52,460	50,000	△2,460	旅費・駐車場
通信費	12,385	20,000	7,615	連絡郵送代・行事開催連絡他
会議費	137,550	94,000	△43,550	会議会場費・弁当代
雑費・源泉所得税支払い	12,731	4,000	△8,731	
3 事業積立金	500,000	0	△500,000	
4 前受け会費	24,000	27,000	3,000	2016年度分以降前受け会費
5 予備費	0	33,602	33,602	
当期支出合計(C)	2,011,093	2,365,602	354,509	

神奈川の自然 在庫 297冊 別途50周年事業積み立て ¥2,465,000 備品償却積み立て¥545,000-

第3号議案 役員改選案

(理事) 15名以上 25名以下

藤崎英輔 原田禎介 青砥航次 新堀豊彦 飯村武
池田等 石井隆 大谷房江 片桐務 河野顕子
高柳英麿 橋浦敬子 原悠樹 廣崎芳次 松島義章
三嶽良子 村上雄秀 持田幸良 八城敬友

山口勇一 渡邊恒美

退任 大澤洋一郎 新任 大谷房江

(監事) 1名以上 2名以下

友井国勝 宮嶋徹 (案) 退任 高橋秀男
新任 宮嶋徹

メールでの情報発信を試行しています

当協会では、啓発誌（会報）「かながわの自然」を年1回発行する事になっているのですが、発行の思いはあるものの止まって数年経っています。

また、これを補う物として情報紙「ニュースレター」を隔月に発行することにしているのですがこれも滞りがちなのが正直なところです。

そこで、更にこれを補うものとして事務局でメールアドレスを把握している会員に向けて不定期で情報をお伝えすることを試行しています。将来はメーリングリストとして双方向性、同志の交流にも役立つようにすることも視野に

入れています。

メールが届いていない方で関心がおありの方は、アドレスをお伝え下さい。（ただし、携帯電話には対応してません。）

行事の告知が中心になると思います。また会員の皆様からの情報もいただければ広めるお役に立てることもあろうかと思います。

性質上、次に発行する「ニュースレター」とは一部重複する事にもなりますがよろしくお願いいたします。

2015年度分会費納入をお願いします

本年度会費納入について

例年のようなお知らせは「信書」に当たるのでメール便に挟むことができません。このニュースレターには振込用紙のみ入れます。それぞれの方の会費納入状況については、総会会場受付確認できます。更に今後、過去分の会費未納の方には別途絵を発信します。

会員ではがきが同封されていない方は昨年度分が未納です。

本年度総会の出欠用はがき（委任状用紙）は昨(2014)年度までの会費を納入された方にお送りします。（葉書が入っていない方は昨年度分入金が確認されていません。）

本年度総会時の会員資格確認では、本年度分会費をされた方及び未納であっても委任状をお送り下さったなど会員継続の意思のある方の数を正会員としてカウントします。

ニュースレター 81号

特定非営利活動法人

神奈川県自然保護協会

<http://www.eco-kana.org>

郵便振替口座 00230-0-112653 銀行からの振り込みは ゆうちょ銀行(9900) 029 (ペーパードキュメント)店 当座 0112653

2015年 5月 24日発行

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

TEL&FAX 046-222-2356

Eメール: nacs-kana-office01@eco-kana.org